

あわてずに、いざというときの10か条

地震はいつ起こるか分かりません。そして大きな地震になればなるほど、だれもが慌てます。こうしたとき、日ごろからの防災知識が役に立ちます。

まず身の安全

地震の揺れを感じたら素早くテーブルが机の下に隠れるなど身を保護する。

素早く火の始末

ガスは元栓まで閉め、電気器具はコードを抜く。揺れがおさまった後の点検も大切。避難の際はブレーカーを下ろす。

慌てて外に飛び出さない

慌てて飛び出すと落下物や倒壊物で怪我をします。子どもには声をかけて安心させましょう。

出火したら素早く消火

天井に燃え移らないうちに消火しながら、大声で近所に知らせましょう。燃えだしてから1分が勝負。

出口を確保

特に団地、マンションでは扉が開かなくなる場合があります。開くかどうか確かめましょう。

近所で協力し合う

自分勝手に動かさず、声をかけあい、消火や救護活動をしましょう。

壁や塀などに近寄らない

ブロック塀、石塀、門柱、崖、川べりなどから急いで離れましょう。

ガラスの破片に気をつけて

室内では割れて飛び散った食器、照明器具に注意。外に出るときはビルから降ってくる窓ガラスの破片や看板類から頭を守るため、防災頭巾や座布団で頭を保護しましょう。

お年寄り、病弱者、幼児を守る

子どもやお年寄りを優先して避難させましょう。動けない人を助ける場合は毛布をかぶせ、安全

な場所へ。乳幼児は抱きかかえて歩いて避難する

交通はまひ状態になり、自動車による避難は不可能です。

日ごろの備えがあなたの命を救う

市では、警察署、消防署及び消防団の協力を得て、町内会、自治会などを母体とする「自主防災組織」の育成を進めており、現在市内には259組織が結成されています。

災害発生時に的確な行動を取るには、地域での相互協力による日ごろの訓練の積み重ねが大切です。大地震が発生した時、防災機関はただちに活動を開始します。しかし、災害が大きいほど十分な活動をすることができません。例えば、地震発生から皆さんの所に救援物資が届くまで最低3日かかると思われています。

そこで、この3日分の水、食料などは、家族みんなで話し合い、必ずそろえておくようにしましょう。月に一回程度、家族で防災会議を開き、「イザ」という時の役割や日頃の準備を話し合うのも良いでしょう。あわせて自分たちがどこに避難(避難場所)下表)すればよいかも必ず確認しておきましょう。

家族間の連絡方法

災害用伝言ダイヤル(177)の利用など

災害用伝言ダイヤルとは被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方が聞ける「声の伝言板」です。8月30日(土)午前9時から9月5日(金)午後5時までの間(録音時間は30秒、録音内容は1時間保管されます)特別に開設しています。この機会に災害用伝言ダイヤルの使用方法を覚えましょう(利用には通常料金がかかります)。

市指定避難場所一覧表

Table with 4 columns: 番号, 記号, 名称, 番号, 記号, 名称, 番号, 記号, 名称. Lists 102 designated evacuation sites across the city.

避難場所の区分

Table with 3 columns: 区分, 記号, 内容. Defines evacuation site categories like '救急救助活動拠点' and '避難所'.

市議会のうごき

9月定例会を開催します

本会議・委員会を下表のとおり開催します。開会時間は午前10時です。ただし9月4日は午後1時です。なお、会議の日程・時間等は変更になることがあります。

議会を傍聴しましょう

本会議・常任委員会日程

Table with 3 columns: 月日, 曜日, 内容. Lists the agenda for the September regular session.

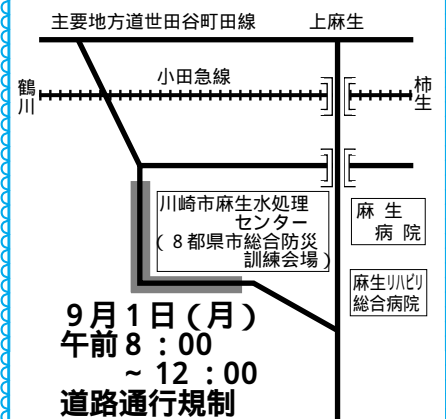
防災訓練当日、メイン会場近くのまちだ中央公民館において、災害時の家具転倒防止金具などの展示・取付申請受付を行っています。

町内会・自治会に入りませんか

阪神・淡路大震災の際、NPOの存在とともに町内会・自治会の重要性が再認識されました。しかし市内ではその加入率が年々低下しています。最近多発している放火、空き巣狙い、ひったくり等の防止にも、地域での顔のつながりや連携した取り組みが成果を上げています。

川崎市総合防災訓練に伴う交通規制とサイレン吹鳴のお知らせ

川崎市では三輪町に隣接する下水処理場で9月1日に総合防災訓練を行います。訓練に伴い午前8時から12時までの間、下記の道路を交通規制します。



9月1日(月) 午前8:00 ~ 12:00 道路通行規制